

# シナリオ入力用価格表

日時	2026年6月18日 06:02 JST
対象	日中セッション向け
現値	69980

## 共通メモ

エントリー価格・トリガー・ロスカットは引け時点のチャート形状（各足の転換価格・押し安値・戻り高値）を基準に設定している。時間の経過で構造が変化した場合、上位足の構造変化がない限り、下位足（15m等）の波動転換価格（例：短期足が一旦下落波動に入った後に上昇波動へ転換する価格）を基準にエントリー価格を調整し、当初設定値と比較してより実態に合う方を採用する。OIは満期に紐づく中期の到達点・重心（6/17確定値・7月限/9月限）であり、短期トリガーは各足の終値構造で判断する。OI中期メド＝上値コール壁72,000（手前70,000に小節）/下値プット支え65,000（66,110サポート転換と近接）/マックスペイン7月64,000・9月58,000/PCR(OI)1.76・1.65。

## UP① ブレイク追従（ロング）

有効化	ON
ブレイク価格	71000
判断足	15m終値回復
先行エントリー価格	71000
先行判断足	ブレイク価格近辺への戻り、または上抜け後に傾斜の付いた20MA近辺を短い足でタイミングを計る（バックエントリー）
本エントリー価格	71000
判断足	1H終値回復
先行分ロスカット	70690
本玉分ロスカット	70140
ターゲット1	71500
ターゲット2	72000

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。青天井・過熱圏のため早めに保護。

RR：先行71000・LC70690（リスク310円）基準、T1（71500）+500円=RR1.6、T2（72000）+1000円=RR3.2

補足：71000（ナイト高値・1H転換）を15m終値で上抜け（新値追い）。上抜け後、ブレイク価格近辺への戻り、または傾斜の付いた20MA近辺（ブレイク後の押し目買いとして注視）を短い足でタイミングを計って先行（バックエントリー）。20MAタッチはあくまで目安。RRはブレイク価格基準。71000を1H終値で回復で本玉化。T2の72000はOIの中期上値メド（7月限コール最大OI）で、71000上抜け後は72000まで抵抗が薄く本来のリワードはT2に置く。T1は一部利確+建値移動の目安。青天井・過熱のため早めに保護。

## UP② 押し目買い（ロング）

有効化	ON
押し目候補価格1	69150
押し目候補価格2	68870
UP②トリガー価格	69150反発を15m終値で確認+70790を15m終値上抜け（上昇波動回帰）
判断足	押し目ゾーン反発を15m終値で確認+15m上昇波動回帰
UP②本エントリー価格	70790
判断足	1H終値回復
先行分ロスカット	68950
本玉分ロスカット	68870
完全撤退	68200
ターゲット1	70790
ターゲット2	71000、72000

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。15mが下落波動のため保護を早める。

RR：先行69300・LC68950（リスク350円）基準、T1+1490円=RR4.3、T2（71000）+1700円=RR4.9

補足：標準条件は69150（15m押し安値）で反発形状を形成し、反発を15m終値で確認、さらに70790（15m転換）を15m終値で上抜けて上昇波動へ回帰したところで先行エントリー（先行目安69300浅押し、深押し時68870近辺で69000・LC68770）。70790を1H終値で回復で本玉化

。T1は一部利確+建値移動の目安、本来のリワードはT2（T2上限72000はOI中期上値メド）。4Hが上昇のため順張りの押し目買い。エントリーは上昇20MAの上で行う。15mが下落波動のため上昇波動回帰の確認を待ち、69150を明確に終値割れした場合は短期調整として見送る。

## DOWN① 戻り売り（ショート）

有効化	ON
戻り候補価格1	70490~70790
戻り候補価格2	71000
DOWN①先行エントリー価格	70600
判断足	戻り圏失速を15m終値で確認
DOWN①本エントリー価格	69150
判断足	1H終値割れ
先行分口スカット	70820
本玉分口スカット	71000
強い無効化	71000（ナイト高値回復）
ターゲット1	69150
ターゲット2	68870、68200

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。4H上昇中・高値更新継続の逆張りのため戻り取り限定・深追いせず早めに守る。

RR：先行70600・LC70820（リスク220円）基準、T1（69150）+1450円=RR6.6、T2（68870）+1730円=RR7.9

補足：4Hが上昇かつ高値更新継続のため戻り売りは戻り取り限定。70790（15m転換）を上抜けられず、70490~70790（戻り高値帯）への戻りで失速を15m終値で確認して先行エントリー（先行目安70600）。69150を1H終値で割れば本玉化。15m・1Hの20EMAが横ばいの局面で上昇20MA上での早撃ちは避ける。前回ナイトの③も71000天井後の戻り売りが成立するもT1未達（建値圏/途中撤退）だった点に留意し深追いしない。トリガー確定足の時点でターゲット1に到達済みの場合は見送り。

## DOWN② ブレイク追従（ショート）

有効化	ON
押し安値（ブレイク価格）	69150
DOWN②先行エントリー価格	69150
判断足	ブレイク価格近辺への戻り、または割れ後に傾斜の付いた20MA近辺を短い足でタイミングを計る（バックエントリー）
DOWN②本エントリー価格	68870
判断足	1H終値割れ
先行分口スカット	69460
本玉分口スカット	70790
完全撤退	71000
ターゲット1	68200
ターゲット2	66110

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。新値圏からの転換はダマシ・急反発に注意。

RR：先行69150・LC69460（リスク310円）基準、T1（68200）+950円=RR3.1、T2（66110）+3040円=RR9.8

補足：69150（15m押し安値）を15m終値で割れば下落波動の深化。ただし4Hは上昇・高値更新継続のため、69150割れまでは下落本格化を見ない深いコンティンジェンシー。割れ後、ブレイク価格近辺への戻り、または割れ後に傾斜の付いた20MA近辺（ブレイク後の戻り売りとして注視）を短い足でタイミングを計って先行（バックエントリー）。20MAタッチはあくまで目安。RRはブレイク価格基準。68870を1H終値で割れば本玉化。T2の66110はサポート転換でOI下値支え65000と重なる中期支持帯。新値圏からの反落はダマシ・急反発に注意し明確な終値割れ確認後にトリガーさせる。トリガー確定足の時点でターゲット1に到達済みの場合は見送り。

※本レポートは情報提供を目的としたものであり売買助言を目的とするものではなく投資判断は自己責任でお願いします。